

防縮加工製品のご案内

防縮加工・・・

織物製品は「洗うと縮む」が常識とされていますが、
近年では防縮加工によってほとんど縮まない製品を作ることが出来ます。
ハイランクホテル様での導入も決まり、
耐久性などの面から近年注目度が増しています。

なぜ織物は縮むのか



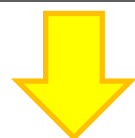
綿繊維は水分を吸収することで膨張し、
その後の乾燥過程で収縮します。

糸が膨らむと、円周差で交差する糸が引っ張られ、
糸の形状が固定されたまま乾燥するので、
「長さ」が「厚み」に変わり、生地は縮みます。

特に新しい綿は「中空」と呼ばれる、
水分を良く吸収する部分があり、膨らみやすく、
初回の洗濯時に大きく収縮するのはこのためです。

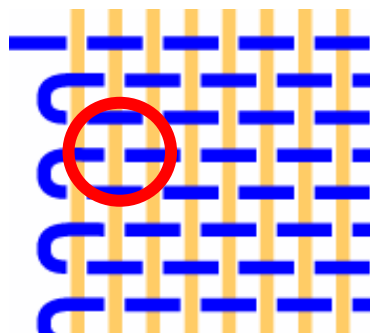


また、織物は作製工程上、全体的に「引っ張られた」状態で織られています。
そのため織り組織には空間が生まれやすく、
洗濯によって生地の緊張が解けると、
糸と糸の間にある空間が詰まって縮みが生じます。



つまり、

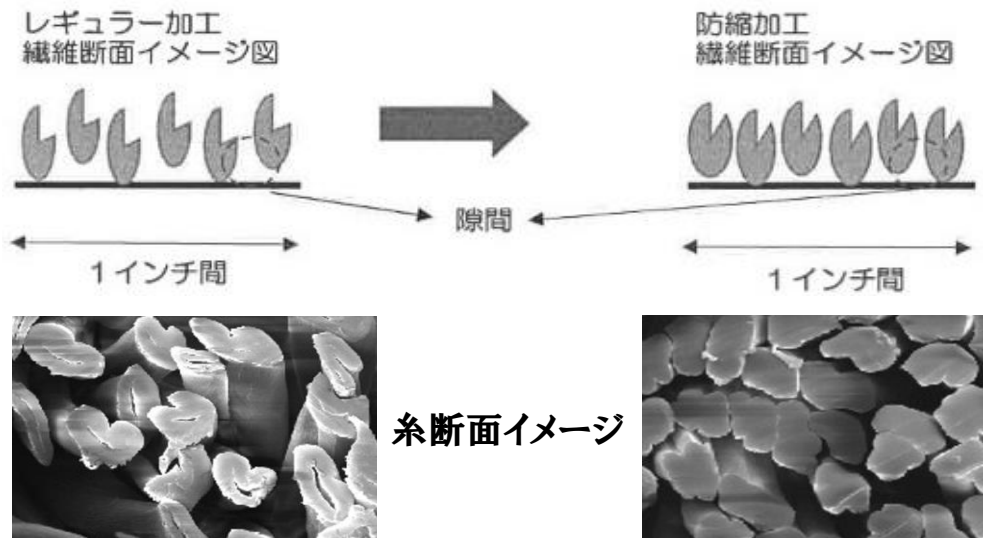
「繊維の間にある空間」
「糸と糸の間にある空間」
が縮みの大きな原因



防縮加工方法

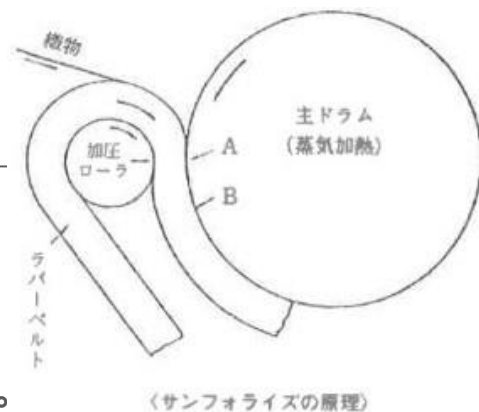
*シルケット加工

シルケット加工とは、綿糸をシルクのようなハリのある糸にする加工方法です。苛性ソーダと言われる薬液に浸ける事で、糸が膨潤状態となり、同じ打ち込み本数でも、目が詰まった状態の織物に仕上がります。また、シルクライクな光沢感のある生地に仕上がります。



*サンフォライズ加工

サンフォライズ加工とは、予め物理的に生地を縮めておく加工方法です。織物を予め目の詰まった状態にする事で、洗濯後の縮みを抑制できます。特殊な機械を使って、生地を押し込むイメージで糸の隙間を埋めます。蒸気加熱によって収縮した状態を固定させます。



**白木屋では両方の防縮加工を生地に施し、
在庫化しておりますので、小ロットから作製を承ります。**

まずはお気軽にお問い合わせ下さい。